

牛伝染性リンパ腫* (EBL) 対策をしましょう

*R2.7.1付 家伝法改正のため、牛白血病から名称変更

県北家畜保健衛生所

Q1 何からやれば良いの？

「うちの農場はどうなの・・・」

A1 まず、**抗体検査 (1頭640円*)** で、**陽性牛を把握** しましょう。すでに陽性とわかっている牛を除き、**全頭検査** しましょう。(※畜産協会から半額補助、全農から20頭半額補助)



Q2 陽性牛がいた場合、どのような対策をすれば良いの？

A2 農場内で**感染を広げない**ようにしましょう。
また、陽性牛は治りません。
計画的に更新して農場から排除しましょう。



Q3 感染を広げないために、どうすれば良いの？

A3 陽性牛の**血液**を介して感染が広がります。人為的、吸血昆虫、母子による感染を防ぎましょう。(◎必須対策)



【人為的感染の防止】

- ◎ 注射針や直検手袋は**1頭ごとに交換**しましょう。
- ◎ 除角、去勢、削蹄、耳標や鼻環装着などは**陰性牛から実施**し、使用器具は**1頭ごとに洗浄・消毒**しましょう。

【吸血昆虫による感染の防止】

- ◎ 陰性牛から**陽性牛を離して飼育 (分離飼育)** しましょう。
 - ・牛舎内、運動場、放牧場では陰性牛と陽性牛が接触しないよう**3m以上** 離し、アブなどの吸血昆虫による感染を防止しましょう。→困難な場合はQ4へ。
- △ 牛舎周囲や、陽性牛と陰性牛の間に**防虫ネット**を設置や忌避剤(アブ類)を使用するとより効果的です

【母子感染の防止】

- できるだけ**後継牛は陰性牛から**つくりましょう。
 - ・陽性牛のお腹の中や、初乳や常乳を介して感染します。
- △ **初乳**は適切に給与しましょう。
 - ・陽性牛の初乳は56℃30分の加温もしくは凍結融解させて与える。

～陽性牛の中から高リスク牛を見つけよう！～

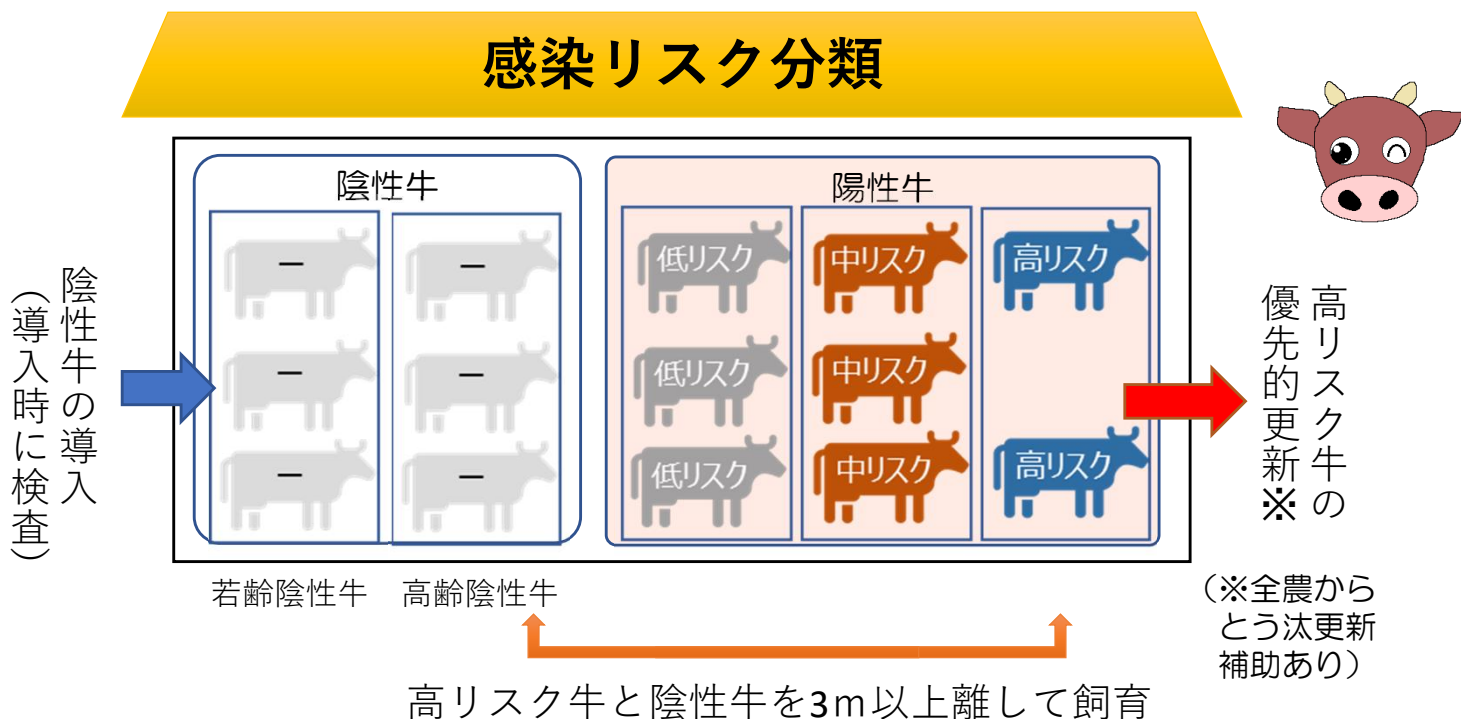
Q4 分離飼育が困難な場合、何か対策法があるの？

A4 陽性牛の中には、周囲に「感染させやすい牛（高リスク牛）」と「感染させにくい牛（低リスク牛）」がいます。
遺伝子検査（1頭2,480円※）でリスクの判別し、リスクに応じた対策しましょう。（※畜産協会から半額、全農から1/4の補助あり）

- ◎高リスク牛を陰性牛から離す
- 高リスク牛を優先的に更新する
- 高リスク牛から後継牛をとらない

リスクとは周囲の牛へ感染させやすいリスクで発症のリスクではありません

感染リスク分類



Q5 全頭陰性だった場合は？

A5 気を抜かず、侵入防止に努めましょう！
導入牛は必ず検査をしましょう。農場にウイルスを持ち込む恐れがあります。
また、定期的に血液検査をして農場の状態を確認しましょう。

※農場ごとに実施可能な対策は違います。一緒に「どこまでなら、出来そうか」を探しませんか

EBL対策のご相談は・・・

県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825